

第2回 国道121号日光地区防災検討会 議事概要

1. 日時

平成30年11月7日(水)15:00~16:10

2. 場所

栃木県庁 6階 大会議室1

3. 出席者(委員)

◎中島 章典 宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 教授
清木 隆文 宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 准教授
日下 敦 土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員
上原 重賢 国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所長
益子 崇 栃木県 県土整備部 交通政策課長
竹中 弘幸 栃木県 県土整備部 参事兼日光土木事務所長

◎は座長

4. 議事

- (1) 規約の改正について
- (2) 地元説明会の開催結果について
- (3) ルート・構造の検討の進め方について
- (4) 技術的課題(案)について
- (5) 技術的課題への対応策検討の進め方(案)について

5. 議事概要

- ・ 事務局に宇都宮国道事務所、委員に砂金教授(首都大学東京)を加えることを事務局(栃木県)より説明し、了承された。
- ・ 平成30年6月13日(水)に開催した地元説明会の開催結果を栃木県より報告した。
- ・ 今後、平面線形及び縦断線形の考え方を踏まえ、栃木県においてバイパス案の詳細なルート、構造の検討を進める。
- ・ 新設トンネル計画地周辺の状況(既設トンネルとの位置関係、地質、地下水)を踏まえ整理した技術的課題(案)を宇都宮国道事務所が提示し、技術的な課題は以下のとおりとすることを確認した。
 - 技術的課題(1) : 近接施工による既設トンネルへの影響
 - 技術的課題(2) : 湧水によるダム水位への影響及びトンネル施工への影響
- ・ 今後、宇都宮国道事務所において、過去の施工実績を踏まえ技術的課題への対応策検討を進める。
- ・ 地元説明会の開催など地元の方々への周知を図りながら検討を進める。

以 上